

2024年2月8日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

責任投資原則(PRI)の自然関連イニシアティブ「Spring」へ参加

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:小池広靖、以下「当社」)は、責任投資原則(PRI)が新たに立ち上げた自然関連イニシアティブ「Spring」に参加しています。この度、Springが、参加する全ての機関投資家を公表しましたので、関連する活動についてお知らせします。

Springは、自然資本・生物多様性の損失の解決を目指す機関投資家による協働イニシアティブとして2023年10月に発足しました。その数は129社にのぼり、運用資産総額は約9兆ドルに及びます。参加する機関投資家は投資先企業に自然資本や生物多様性の損失に対応を進めるよう働きかけていきます。具体的な活動としてまずは、生物多様性損失の主要な要因である森林損失と土地の劣化に焦点を当て、主要企業40社を対象にエンゲージメント(企業との建設的な対話)を実施します。

当社からは、ESGインベストメントマネージャーの山脇大が諮問委員会[※]委員として活動し、これまでにエンゲージメント対象企業を選出するプロセス等に参画しました。今後、当社はリードインベスターとして、他の参加機関と協働してエンゲージメントを行う予定です。当社は、自然資本に係る課題を特に重要性の高いものと認識し、当社のESGステートメントに2019年から明記しています。投資対象銘柄に係る自然資本関連のデータや規制動向等の定期的な調査のほか、自然資本分野に焦点を当てたエンゲージメントを通じてリスクと機会の両面を評価するなどしています。それらを投資判断に反映させ、機関投資家および事業会社として、自然資本の保全に向けた取組みを推進しています。なお当社は、PRIに2011年に署名しました。

当社は今後も、自然資本および生物多様性分野におけるエンゲージメント活動を通じて、投資先企業の取組みを促進し、長期的な企業価値と社会の持続可能性の向上に貢献していきます。

[※] 自然関連分野におけるPRIの戦略および実行について、PRIに対してアドバイスを行うことを目的とした委員会。世界中の署名機関の中から選出されたメンバー(日系企業からの選出は2社)で構成。

以上